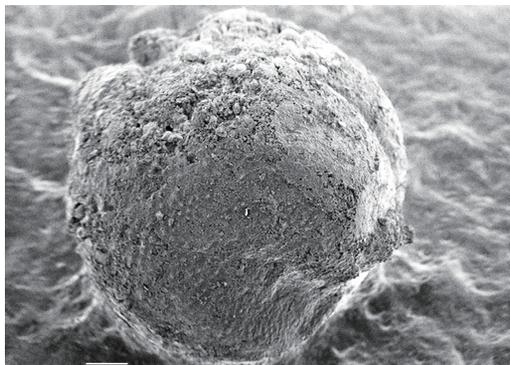
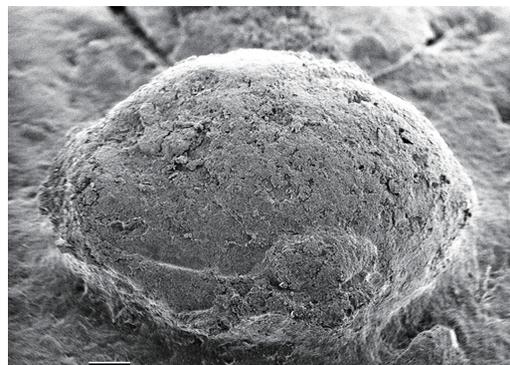


1：やや凹んだ内顔の乳頭状突起と内外顔境目の平滑な部位からアワ



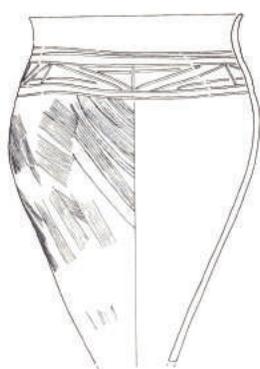
2：内顔表面の乳頭状突起と境目の平滑な三日月状部位からアワ



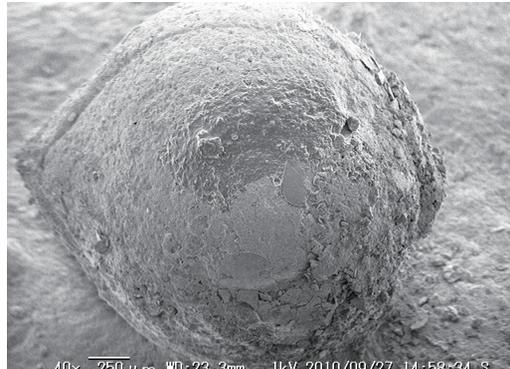
3：両端が尖り内外顔が平滑でその境目の段差からキビ有ふ果と同定



4：5号再葬墓出土の壺外面に圧痕を観察



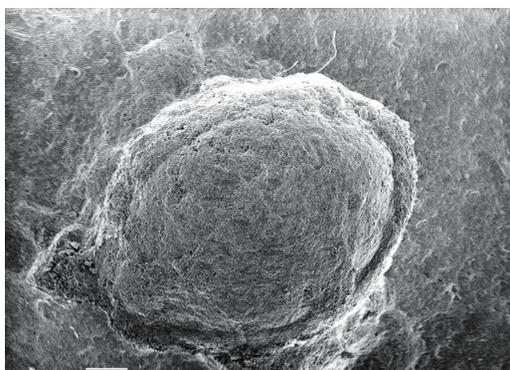
5：4の実測図。沈線による三角連繫文施文で刷毛目調整



6：両端が尖り内外顔は平滑でその境目の段差からキビ有ふ果と同定



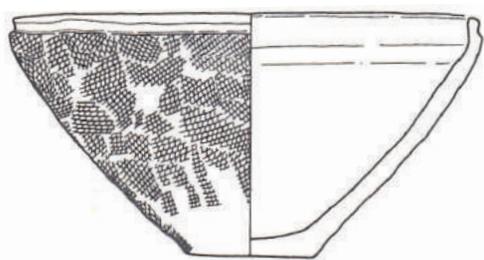
7：6号歳葬墓出土の口縁部を欠く全面研磨の壺外面に圧痕を観察



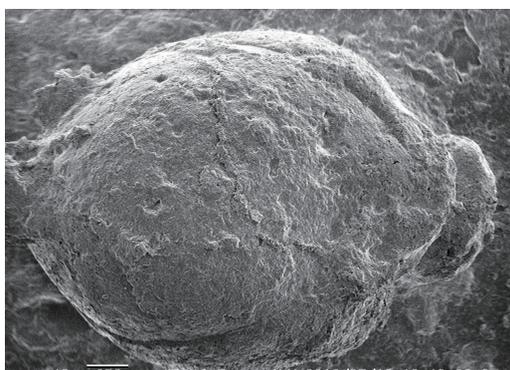
8：両端が尖り内外顔平滑で境目の段差からキビ有ふ果と同定



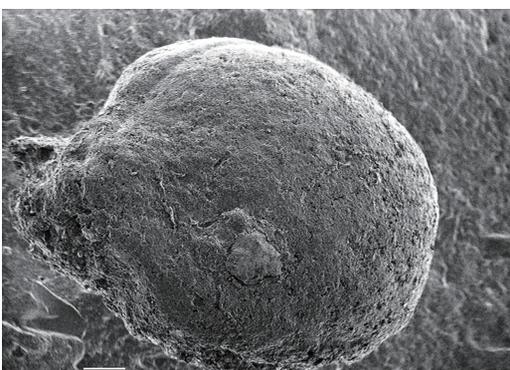
9：21号土坑出土の浅鉢内面に2点の圧痕を観察



10：9の実測図。無節Lの縄文を施文



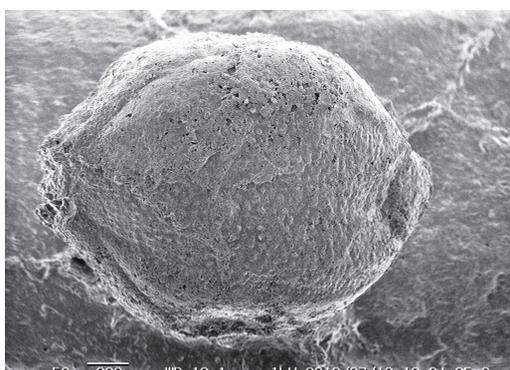
11：両端が尖り内外顔が平滑、境目の段差からキビ有ふ果と同定



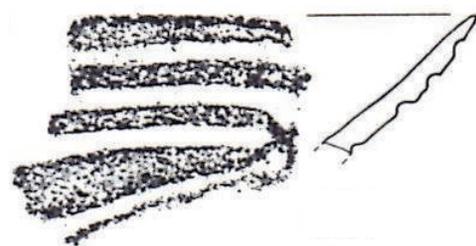
12：基部側が尖り内外顔が平滑、一部境目の段差からキビ有ふ果と同定



13：三角連繫文施文の甕胴外面に圧痕を観察



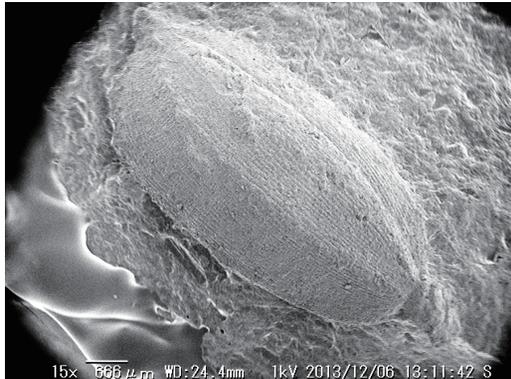
14：平坦な内顔に乳頭状突起、内外顔境目に平滑な三日月状部位でアワ



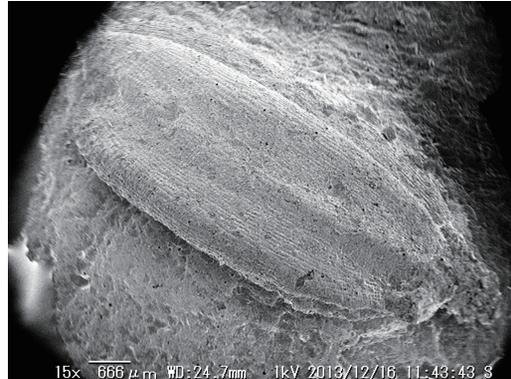
15：変形工字文施文の浅鉢内面に圧痕を観察



1：外穎の乳頭状突起と内外穎境目の平滑な三日月状部位からアワ



3：紡錘形で維管束による凹凸や顆粒状突起からイネ籾と同定



5：紡錘形で維管束による凹凸や顆粒状突起からイネ籾と同定



7：遺存状態が悪いが内穎の乳頭状突起と平滑な三日月状部位からアワ



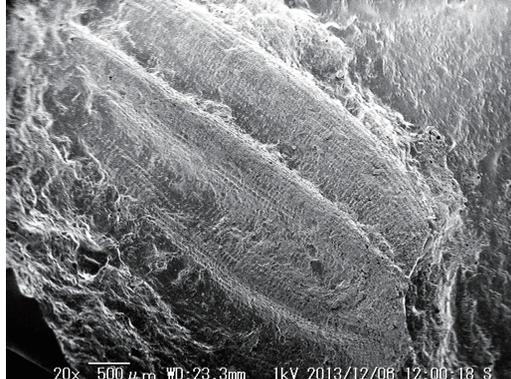
9：両端が尖り内外穎が平滑で境目の段差からキビ有ふ果と同定



11：平滑な内外穎の表面状態とその境目の段差からキビ有ふ果と同定



13：紡錘形で維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ籾と同定



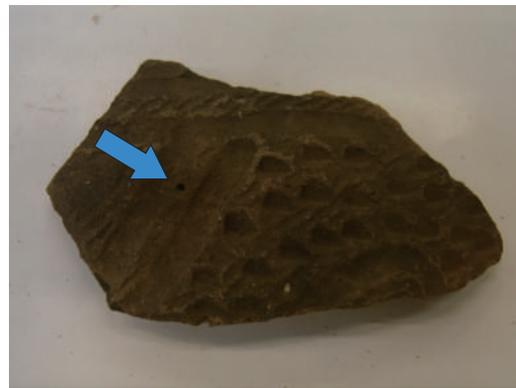
15：全形は観察できないが維管束による凹凸と顆粒状突起からイネ籾



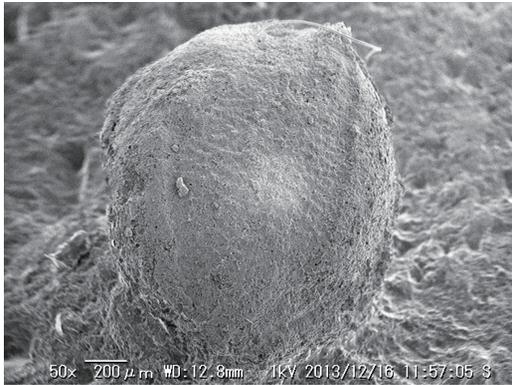
1 : 包含層出土の縄文施文の胴部外面に圧痕を観察



2 : 紡錘形の全形と維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ籾と同定



3 : 包含層出土の太書き沈線と刺突をもつ胴部資料外面に圧痕を観察



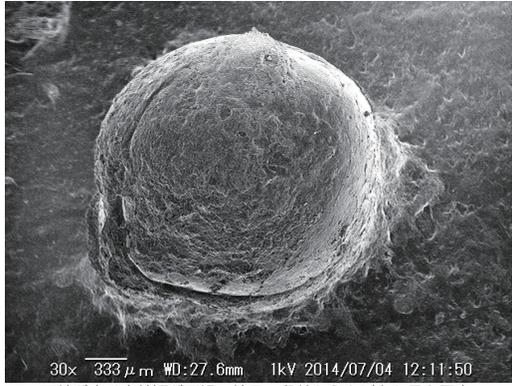
4 : 内頤の乳頭状突起と内外頤境目の平滑な三日月状部位からアワ



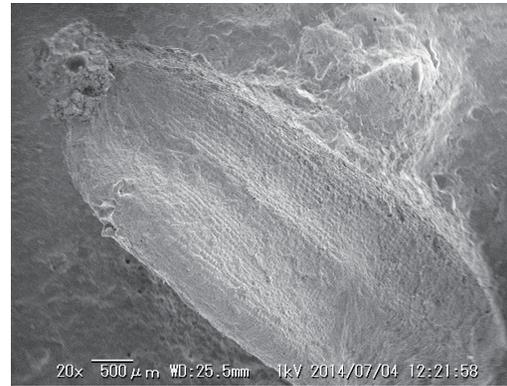
5 : 2号再葬墓出土の長頸壺から6点の圧痕を観察



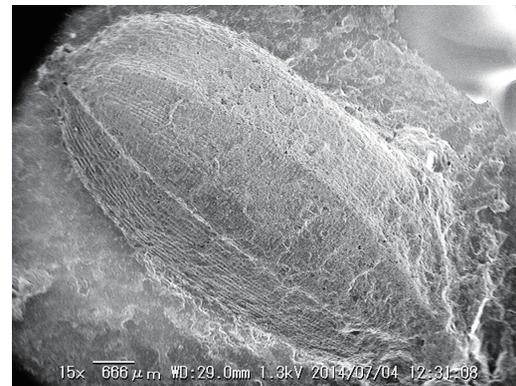
6 : 5の長頸壺実測図



7 : 両端が尖り内外頤が平滑で境目の段差からキビ有ふ果と同定



8 : 紡錘形の全形で維管束による凹凸や顆粒状突起からイネ籾と同定



9 : 紡錘形の全形で維管束による凹凸や顆粒状突起からイネ籾と同定



10 : 背面中央の粒長の1/2ほどの長さの「胚」からキビ籾果と同定



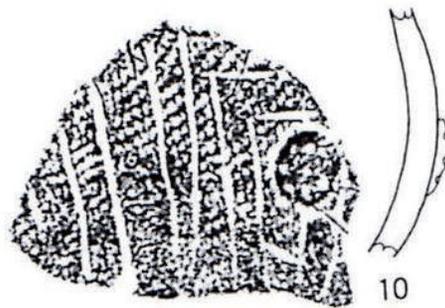
11 : 内頤の乳頭状突起と内外頤境目の平滑な三日月状部位からアワ



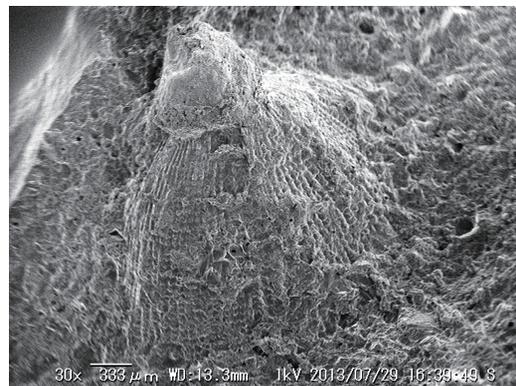
12 : 両端が尖り内外頤が平滑で境目に段差が僅かに観察されキビ



13 : 173号住居出土土台付甕断面に圧痕を観察



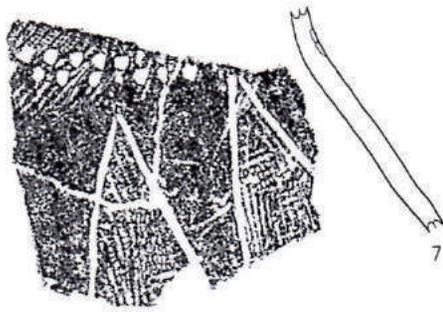
14 : 13の甕実測図。地文縄文にコの字重ね文とボタン状貼付文



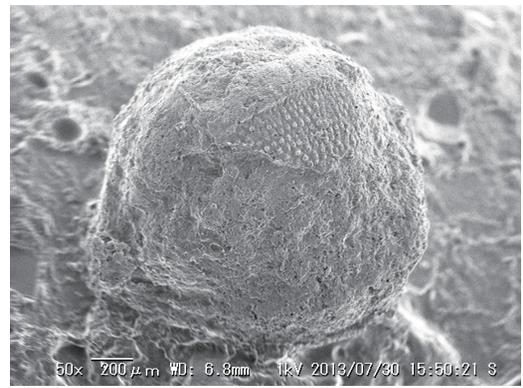
15 : 断面からの半分弱の遺存だが小穂軸や顆粒状突起からイネ籾



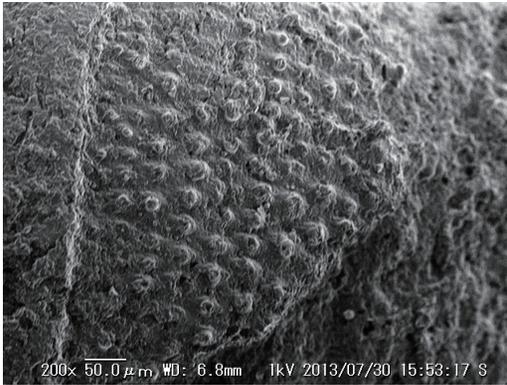
1 : 217 号住居出土の壺頸部資料外面に圧痕を観察



2 : 1 の拓本。「帯状文上に 2 列の列点文を施文」「列点文下には、縄文を充填した鋸歯文」



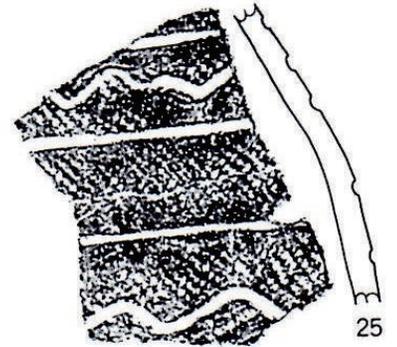
3 : 内頸の一部にのみ乳頭状突起が残存しアワ有る果と同定



4 : 200 倍に拡大した、畝状にならず独立して並ぶ乳頭状突起



5 : 259 号住居出土の胴部外面に圧痕を観察



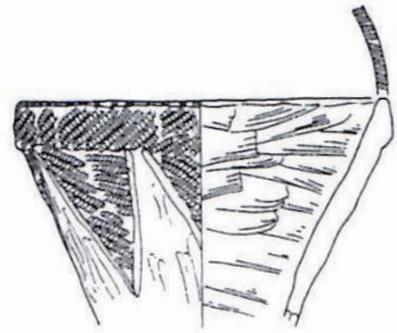
6 : 5 の拓本。「地文原体 RL 単節縄文に平行線文と波状文」



7 : 紡錘形の全形や維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ初と同定



8 : 426 号住居出土の複合口縁壺断面に圧痕を観察



9 : 「口縁部は平坦に面取り」「口端部から口縁部にかけて原体 LR 単節縄文を施文」「口縁直下に同一原体を充填する鋸歯文」



10 : 半分強の遺存だが維管束による凹凸と顆粒状突起からイネ初



11 : 269 号住居出土の壺胴部外面に圧痕を観察



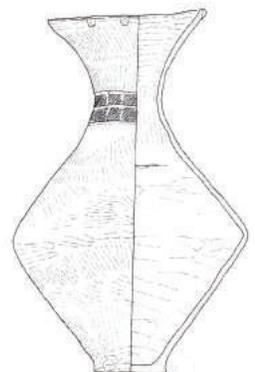
12 : 11 の壺実測図。「列点文下に、重四角文を施文」「重四角文内は格子文を施文し上下に原体 RL 単節縄文を粗雑に充填」



13 : 内頸の乳頭状突起と内外頸境目の平滑な三日月状部位からアワ



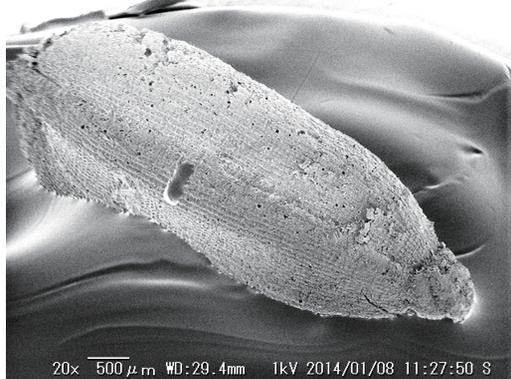
14 : 2 号住居出土の完形壺の算盤玉状胴部外面に圧痕 2 点を観察



15 : 14 の壺実測図。



1：紡錘形の全形で維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ粉



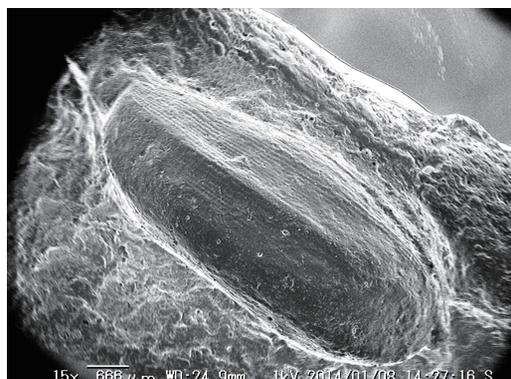
2：紡錘形の全形で維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ粉



3：平行沈線の上下に LR 単節縄文施文の壺胴部断面に圧痕を観察



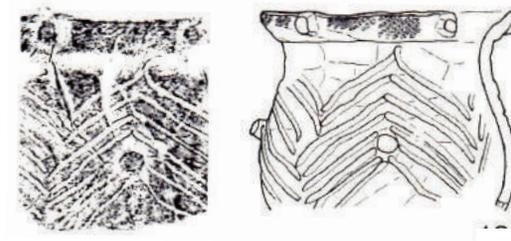
4：3の断面に観察された圧痕。維管束による凹凸が肉眼でもみえる



5：紡錘形の全形で維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ粉



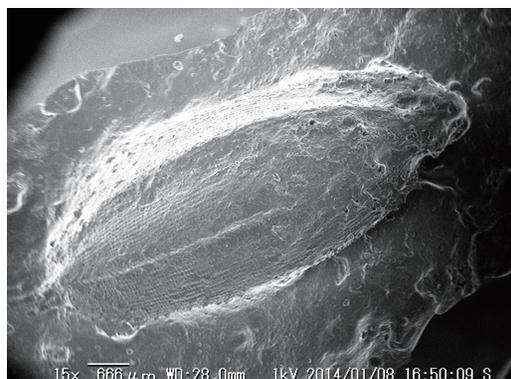
6：3号住居出土の受け口状を呈する小型甕外面に圧痕を観察



7：「口縁部に LR 単節縄文が施文され、頸部以下は沈線で縦位の羽状文」「口縁部及び胴部中段にボタン状貼文」をもつ



8：維管束による凹凸が明瞭で紡錘形の圧痕



9：紡錘形の全形で維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ粉



10：簾状文をもつ小型甕外面に圧痕を観察



11：内頸の乳頭状突起と内外頸境目の平滑な三日月状部位からアワ



12：2条の平行沈線間に LR 単節縄文施文の壺頸部内面に圧痕を観察



13：内頸の乳頭状突起と不鮮明ながら平滑な三日月状部位からアワ



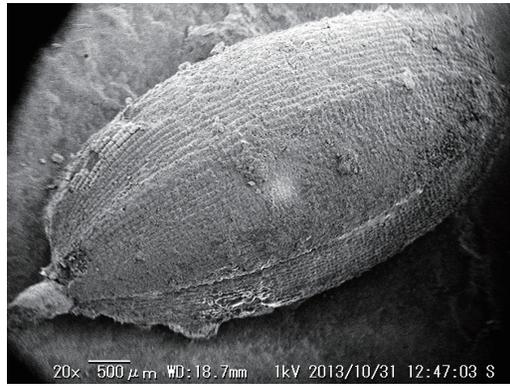
14：口唇部に刻みをもち「池上式」とされる甕口縁部内面に圧痕を観察



15：平坦な内頸側の乳頭状突起、内外頸境目の平滑な部位からアワ



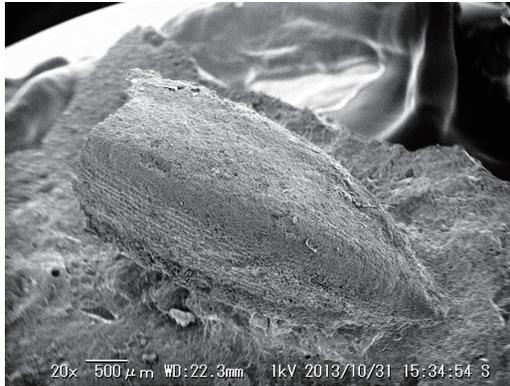
1 : 14号住居出土無文土器胴部外面に圧痕を観察



2 : 紡錘形の全形と維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ粉



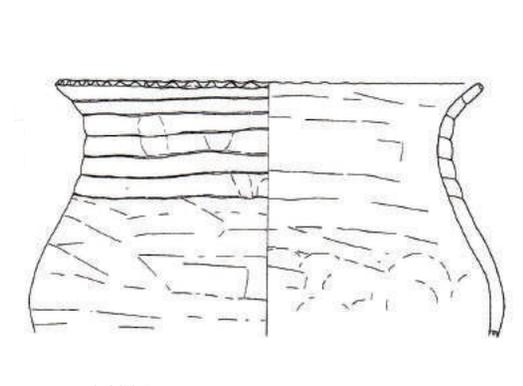
3 : 赤彩された壺胴部外面に圧痕を観察



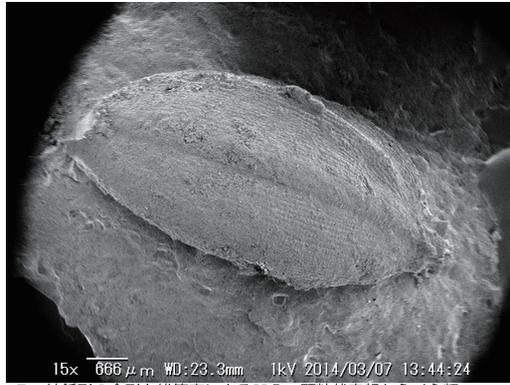
4 : 破損したレプリカながら維管束による凹凸と顆粒状突起からイネ粉



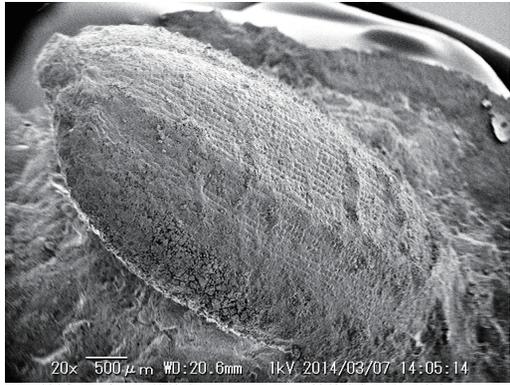
5 : 137号住居出土の輪積み甕の内外断面に圧痕を観察



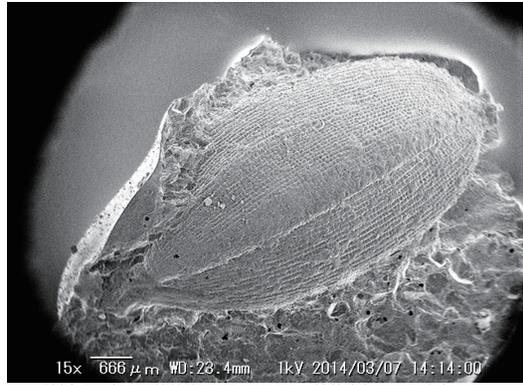
6 : 5の甕実測図。



7 : 紡錘形の全形と維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ粉



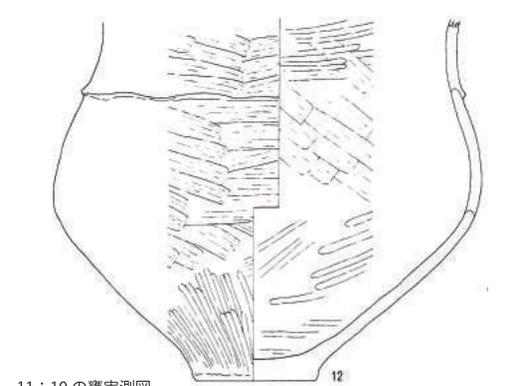
8 : 紡錘形の全形と維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ粉



9 : 紡錘形の全形と維管束による凹凸、顆粒状突起からイネ粉



10 : 141号住居出土の輪積み甕



11 : 10の甕実測図。



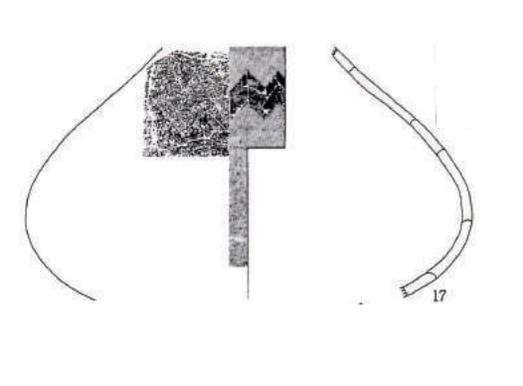
12 : 平坦なレプリカながら維管束による凹凸と顆粒状突起からイネ粉



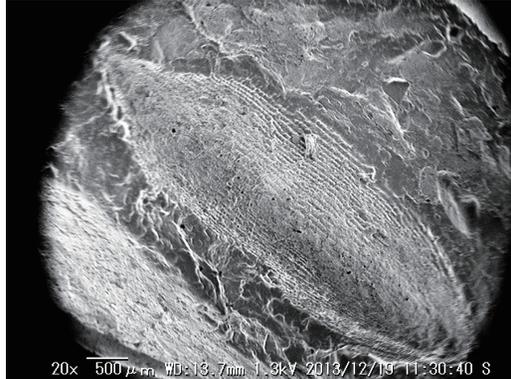
13 : 紡錘形の全形と維管束による凹凸と顆粒状突起からイネ粉



14 : 74号住居出土の炉体土器とされる壺断面に圧痕を観察



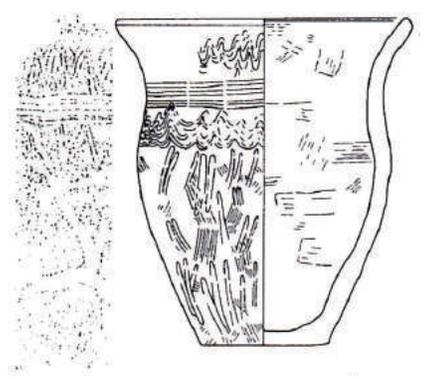
15 : 14の壺実測図。山形文をもつ



1 : 紡錘形の全形、縦管束による凹凸、顆粒状突起からイネ籾と同定



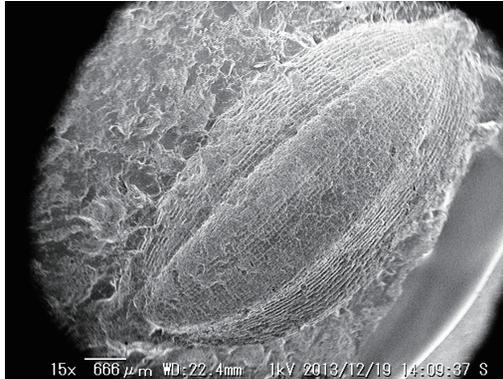
2 : 105号住居出土の櫛描簾状文や波状文を持つ小型甕



3 : 2の小型甕実測図



4 : 外面に観察された圧痕



5 : 紡錘形の全形、縦管束による凹凸、顆粒状突起からイネ籾と同定



6 : 両端が尖り、内外顔表面が平滑でその境目の明瞭な段差からキビ



7 : 背面の中央の粒長の1/2ほどの長さの「胚」からキビ類果と同定



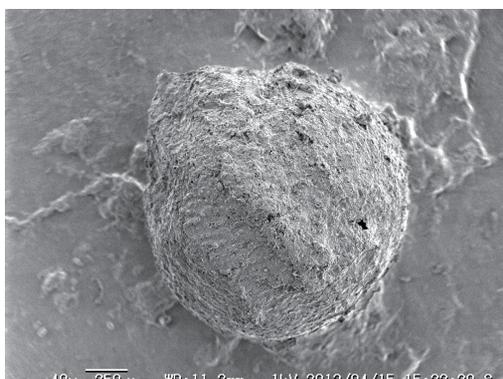
8 : 壺底部近くの胴部外面に紡錘形の圧痕を観察



9 : 紡錘形の全形、縦管束による凹凸、顆粒状突起からイネ籾と同定



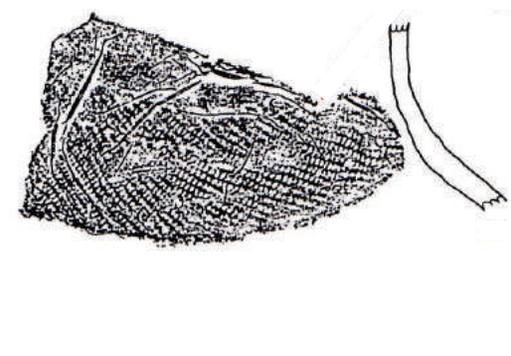
10 : 同じ壺胴部外面に小型球形の圧痕を観察



11 : 遺存状態は悪いが外観一部に観察される乳頭状突起からアワ



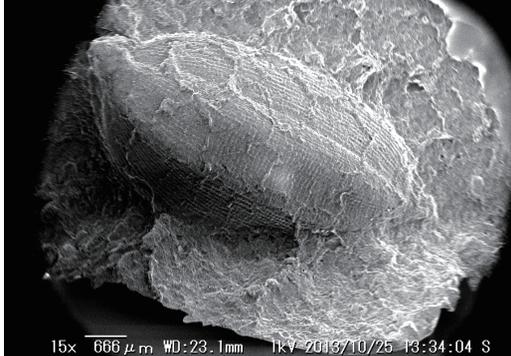
12 : 20号住居出土の赤彩で単節RLの縄文施文の壺外面に圧痕を観察



13 : 12の土器実測図



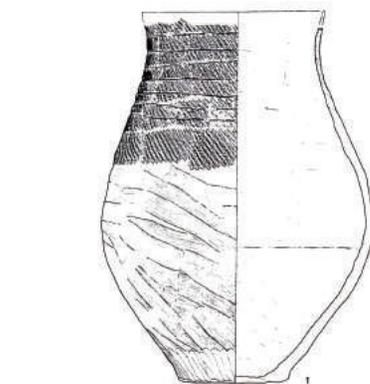
14 : 紡錘形の圧痕内に縦管束による凹凸が肉眼でも明瞭に観察される



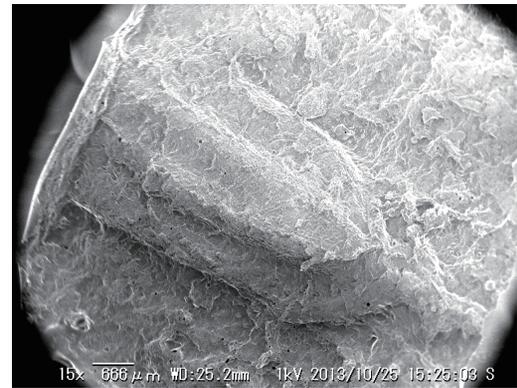
15 : 紡錘形の全形、縦管束による凹凸、顆粒状突起からイネ籾と同定



1 : 3号住居出土の単節 RL 縄文施文の甕底部に圧痕を観察



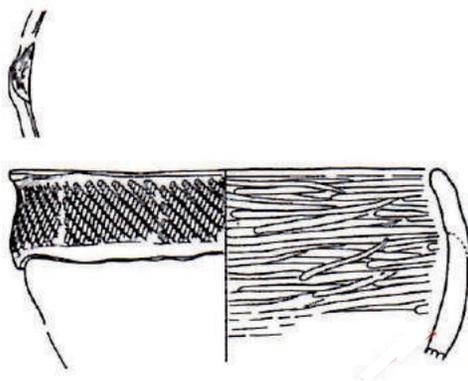
2 : 1の実測図。7段の輪積痕を明瞭に残し、縄文施文



3 : 半分程の遺存だが維管束による凹凸と顆粒状突起からイネ粃



4 : 14号住居出土の片口状土器の内面に圧痕を観察



5 : 4の実測図。口縁部に単節 RL の縄文を施文し片口状のつまみ出し



6 : 内面に観察された小型球形で深い圧痕



7 : 内外顔表面の乳頭状突起とその境目の平滑な三日月状部位からアワ



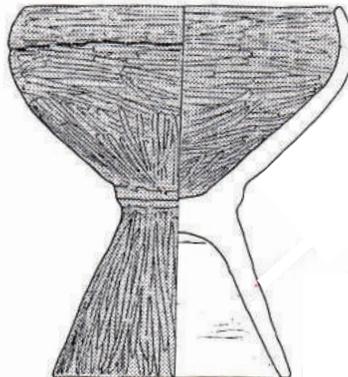
8 : 南遺物包含層出土の単節 RL 縄文施文胴部内面に圧痕を観察



9 : 内顔の乳頭状突起と内外顔境目の平滑な三日月状部位からアワ



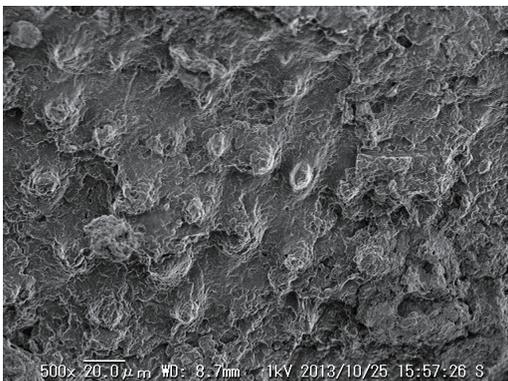
10 : 22号住居出土の高杯の坏部の坏部と脚部外面に圧痕を観察



11 : 10の実測図。口縁部に1段の輪積痕を残し折り返し状口縁



12 : 遺存状態は悪いが、僅かに乳頭状突起と内外顔境目の平滑な部位



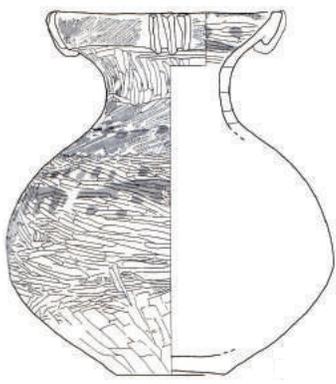
13 : 500倍に拡大した乳頭状突起列



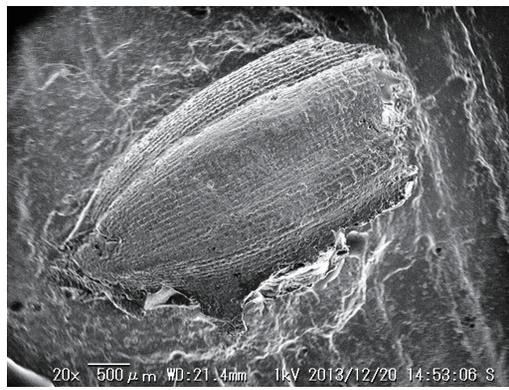
14 : 基部側から内外顔の乳頭状突起が観察されアワ有ふ果と同定



15 : 41号住居出土の複合口縁をもつ完形の壺外面に圧痕を観察



1 : 38-15 の実測図



2 : 半分強の遺存ながら維管束による凹凸や顆粒状突起からイネ粉



3 : 88 号住居出土の 4 本一単位の強い条痕をもつ甕胴部断面に圧痕



4 : 維管束による凹凸と顆粒状突起からイネ粉と同定



5 : 105 号住居出土の太描き沈線施文の胴部断面に圧痕を観察



6 : 断面検出のため半分程の遺存だが凹凸や顆粒状突起からイネ粉



7 : 76 号住居出土の胴部破片断面に圧痕を観察



8 : 極めて平坦なレプリカだが顆粒状突起が観察されイネ粉と同定



9 : 51 号住居出土の口唇部にキザミをもつ完形の甕外面に圧痕を観察



10 : 維管束による凹凸と顆粒状突起からイネ粉と同定



11 : 69 号住居出土の胴部外面に圧痕を観察



12 : 不鮮明だが内顔の乳頭状突起と内外顔境目の平滑な部位からアワ